

第3学年 中学校音楽科 学習構想案

日 時 令和5年11月28日(火) 第5校時
場 所 津奈木中学校 体育館
指導者 教諭 矢野 志織

1 題材構想

題材名	歌詞の内容を理解し、歌唱表現を工夫して歌おう (教材: 「花の街」 江間章子 作詞 團伊玖磨 作曲)		
題材の目標	(1) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 <知識及び技能>A(1)イ(ア)・ウ(ア) (2) 旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。 <思考力、判断力、表現力等>A(1)ア (3) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むとともに、我が国で長く歌われている歌曲に親しむ。 <学びに向かう力、人間性等>		
題材の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	① 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解している。 ② 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	① 旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	① 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及びの歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
題材終了時の生徒の姿 (題材のゴールの姿・期待される姿)			
これから出会う日本の曲についても歌詞や曲想を味わい、その魅力に気づき、工夫して表現しようとする生徒。			
題材を通した学習課題		本題材で働かせる見方・考え方	
我が国で長く歌われている歌曲の魅力とは何だろうか。		音楽に対する感性を働かせ、旋律、強弱等とそれらの働きの視点で捉え、詩や曲の背景・自己のイメージや感情などと関連付けること。	
指導計画と評価計画 (3時間取扱い ※本時3/3)			
時間	学習活動	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」	
1	1 作詞者や作曲者の思いや曲の背景を掴む。 2 旋律の特徴を捉えて歌う。	【知①】 記述・観察 【態①】 記述・観察	
2	1 前時を振り返り、楽曲の特徴を思い出しながら歌う。 2 1番と2番の歌詞で、曲にふさわしい音楽表現を工夫する。 3 思いや意図と発声、言葉の発音などの技能との関係を意識しながら歌う。	★【知①】 記述・歌唱 ○ 曲想と歌詞の内容との関わりを理解し、旋律の特徴を捉えている。 ★【知②】 歌唱 ○ 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方等の技能について学習した内容が歌唱表現に表れている。 【態①】 記述・観察	
3 ※	1 前時の表現の工夫を思い出しながら歌う。 2 3番の歌詞を使って、1、2番の歌詞と比較して曲にふさわしい音楽表現を工夫する 3 思いや意図と旋律、強弱などとの関係を意識しながら歌う。 4 1番から3番まで歌い、題材における学習を振り返る。	★【思①】 記述・観察 ○ 楽曲の内容から感じ取ったイメージを自分なりに理解し、思いや意図を持って表現の工夫に繋げている。 ★【態①】 記述・発言 ○ 創意工夫について発言したり、歌ったりしているか。「花の街」の学習全体を振り返り、自らの学びを踏まえて書いている。	

2 題材における系統及び生徒の実態

学習指導要領における該当箇所(内容、指導事項等)				
中学校学習指導要領の第2学年及び第3学年 〔思考力、判断力、表現力等〕A表現(1)ア, 〔共通事項〕(1)ア 〔知識及び技能〕A表現(1)イ(ア)・ウ(ア)				
教材・題材の価値				
「花の街」は、戦争や平和について詩や曲に込められた作者の思いを「作詞者の言葉」や「作曲者の言葉」から感じ取り、それを生かして曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫することができる。また、旋律の動きや強弱記号に注目することで、詩の内容や心情が音楽とどのように結びついているかを理解することができる。更には、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声などの技能を結びつけることができる。 1, 2番と3番の表現の工夫や歌詞の対比等を通して、「花の街」の味わいや理解がより深まり、これからの人生でも様々な歌曲に親しみ、工夫して歌ってみたいという思いを抱かせる題材である。				
本題材における系統				
小学校6学年 旋律の特徴を生かして表現しよう ・歌詞と曲想との関わり に気を付けて歌う。	中学校1学年 日本の歌のよさや美しさを感じ取って歌唱表現を工夫しよう ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。	中学校2・3学年 歌詞の内容を理解し、歌唱表現を工夫して歌おう ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。		
生徒の実態(題材の目標につながる学びの実態)				
■本題材を学習するにあたって身に付けておくべき基礎・基本の定着状況(%)				
調査内容	十分(8割以上)	概ね(6~8割)		
曲の背景をつかみ、どのように歌うかについて思いや意図をもつことができる。	15.3	84.3		
旋律、強弱などの音楽を形づくっている要素を知覚し、特徴を感じ取ることができる。	34.3	59.3		
曲にあった発声の仕方や身体の使い方などで歌うことができる。	12.5	68.7		
■本題材の学習に関する意識の状況(%)				
調査内容	よく	まあまあ	あまり	ない
課題解決に向けて、自分で考え、進んで取り組んでいると思う。	18.7	71.8	9	0
友達と意見や考えを交流することで、自分の考えを広げたり、深めたりすることができていると思う。	43.7	53.1	3	0
音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、捉えたことと自分のイメージや感情、生活や社会、伝統や文化などと関連づけて考えていると思う。	15.6	68.7	15.6	0
■考察 曲の背景をつかみ、どのように歌うかについて思いや意図をもつことができ、音楽を形づくっている要素を知覚し、特徴を感じ取ることができる」と答えている生徒が多くいる一方、それらを生かした表現を苦手としている生徒が20%いる。個別の表現になると自信がない生徒が多いため、今回の歌曲において一人一人の力を高めていきたい。 曲想にあった工夫については、旋律、強弱などの要素から思考する場面を設け、自分の考えをもち交流するなどして意識的に取り組んでいく必要がある。課題解決に向けての活動については、自ら考えたり、友だちとの意見の交流により考えを広げたり深めることができている生徒が大半であり、意見を交流しながら活動することを好む学級であることがわかる。一方、音楽で捉えたことと自分のイメージや感情、文化などと関わらせて考えることは、16%の生徒ができていない。音楽的な見方・考え方について友だちと交流しながら、新たな見方に気付いたり、よさを感じたりすることができるように工夫する必要がある。				

3 本大会の研究の視点

本大会テーマ

感じ取ろう 伝え合おう 分かち合おう 音楽のよろこびを
～芦北・水俣だからできる音楽教育の実践をとおして～

これまで共通教材（日本歌曲）について生徒たちの身近にある自然と結びつけながら授業改善を行ってきた。

「花の街」には、戦争や平和について作者の思い、復興への希望が込められている。本地域の生徒たちは、これまで人権学習で水俣病について学習したり4年前の豪雨災害からの復興を間近に見たりしている。だからこそ、作者の思いを身近な事として考えさせることで、自分の思いを重ねながら表現しようとする生徒を育てていきたいと考える。

視点1 曲の背景をどのように学ばせるかについて

- ・曲の思いをくみ取らせるために、関連する書物や写真等を紹介したり掲示したりする。
- ・生徒のこれまでの学びを想起させ、関連させていくことができるように工夫する。

視点2 対話的活動設定の工夫

- ・主体的な深い学びに向かうために板書を工夫する。
- ・自分の考えを持ったうえで交流することができるように、個人の考えをもつ時間を設定する。
- ・班での活動の時間を確保して交流する時間を設定する。

4 本時の学習

(1) 目標 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解し、歌唱表現を創意工夫して歌う。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される生徒の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	5分	<p>1 課題をつかむ</p> <p>① 前時を振り返って、1, 2 番を歌う。</p> <p>② 「花の街」の3番の歌詞が表す情景や心情を想像する。</p> <p>◇ 1, 2 番の歌詞と比べて、悲しい感じ。</p>	<p>○ 前時までの学びを振り返ったり、歌詞が表している情景や心情について話し合ったりして、それらを思い浮かべながら「花の街」を歌うことができるようにする。</p>
		<p>めあて 「花の街」の曲想を感じ取って表現を工夫しよう。</p>	
		<p>③ 生徒の言葉で課題を設定する。</p>	<p>(「問い」を生み出す手立て等)</p> <p>○ 1, 2 番の歌詞と対比して、3 番の歌詞の特徴を捉えられるようにする。</p>
		<p>【学習課題】 3 番の歌詞に合う表現をするためには、1, 2 番と対比させどのような工夫をして歌えばよいだらう。(旋律、強弱)</p>	
展開	35分	<p>2 課題の解決に向けて活動する。</p> <p>① 3 番の歌詞にはどんな思いが込められているのか確認する。</p> <p>② 個人で、強弱などの表現の工夫について考える。</p> <p>◇ 「春の 夕暮れ」は、夕暮れの雰囲気を出したいので、ふんわりと f で歌い「ひとりさびしく」の m p で語るように歌いたい。</p> <p>③ 班で意見交換をする。</p> <p>④ 班で歌いながら、ふさわしい音楽表現を練習する。</p> <p>◇ 「ひとり 寂しく」は、言葉の発音を工夫して寂しい様子が伝わる歌い方にしていこう。</p> <p>..... 【期待される学びの姿】 感じ取った曲想や音楽の構造、歌詞の内容との関わりなどを基に、歌い試しながら、どのように工夫して歌うかについて、思いや意図を書いている。 ⑤ 発表しながら意見を広める。 1, 2 番との対比についても、発表の中から適宜行う。</p>	<p>○ 前時までのワークシート等を振り返り、3 番の歌詞に込められた思いを感じながら、まず自分の考えを持てるようにする。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">【具体的評価規準】思① 楽曲の内容から感じ取ったイメージを自分なりに理解し、思いや意図をもって表現の工夫に繋げている。 (方法：ワークシートの記述)</p> <p>【到達していない生徒(グループ)への手立て】 ○ 3 番の雰囲気について対話しながら、歌詞や曲想を生かした工夫ができるようなヒントを与える。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">【具体的評価規準】態① ○ 創意工夫を生かした表現をするために自分の意見を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組んでいる。又、学習全体を振り返り、自らの学びを踏まえて記述している。 (方法：ワークシートの記述・発言)</p> <p>【到達していない生徒(グループ)への手立て】 ○ 強弱の加減や言葉の扱いを変化させて歌うなどしながら、3 番の歌詞にふさわしい表現について対話し、よりふさわしい表現を求めることができるようにする。</p>
終末	10分	<p>3 まとめる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">【まとめ】 曲想(歌詞)に合う歌唱表現にするためには、(言葉の発音 や 強弱) を工夫する など。</p> <p>4 学習したことを振り返る。 ・ 1 番から 3 番まで歌う。</p>	<p>○ 生徒の表現の工夫を基にまとめ、それを生かして歌うよう促す。</p> <p>○ 生徒の歌を聴いて、最初の頃の曲の捉え方から変化してきた部分や思いが伝わった部分を伝える。</p>

【 板書計画 】

「花の街」

【学習課題】

3番の歌詞に合う表現をするために、1, 2番と対比させてどのような工夫をして歌えばよいだろう。
(旋律、強弱)

歌詞
「花の街」
七色の谷をこえて 流れていく
風のリボン
作詞作曲

1, 2番は、幻想 平和への願い

3番は、 現実 戦争

3番の楽譜

1番の楽譜

2番の楽譜